

# NEWS Letter



## Contents

三遠南信地域連携研究センター	2
2017年度 越境地域政策研究フォーラム	4
2017年度 シンポジウム・研究会	5
研究拠点	6
共同研究(公募研究)	7
2018年度 共同研究公募要領(抜粋)	7
出版物	8
アクセス	8



# 三遠南信地域連携研究センター

## 越境地域政策の科学的な確立に向けて

地域政策は、国・県・市町村などの行政区域を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域など越境地域での政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本国内でも市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、閉塞感を持っている従来の行政制度や政策発想に縛られない地域政策の可能性があるといます。

愛知大学は、戦前上海にあった東亜同文書院大学を前身として、1946(昭和21)年に愛知県豊橋市に設立された、地域性と国際性の協調を理念とする大学です。三遠南信地域連携研究センターは、特に愛知県・静岡県・長野県の県境地域である三遠南信地域を対象として、様々な地域研究やGIS(地域情報システム)研究を設立以来推進してきました。2013(平成25)年4月には文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として認定され、国内外の越境地域に関する研究機関との共同研究を促進することによって、越境地域政策における地域データ整備から将来予測、政策合意形成に至る総合的な政策研究を目指しています。

### ■これまでのセンターの取り組み

平成17年度 文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業	採択	5年間	「グローバルな視点に立った「地域づくり」 トータルシステムの開発」	研究代表者: 佐藤元彦 経済学部教授
平成22年度 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	採択	3年間	「三遠南信地域における「地域連携型 GIS」の研究」	研究代表者: 蔣湧 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 共同利用・共同研究拠点	認定	6年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	採択	3年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授



### 共同利用・共同研究拠点とは

「三遠南信地域」とは、愛知県東三河地域の「三」、静岡県遠州地域の「遠」、長野県南信地域の「南信」からなる県境を越えた広域地域です。愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、これまで進めてきた行政境界を跨いだ三遠南信地域研究、GIS研究実績等が評価され、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に『越境地域政策研究拠点』として、平成25年度から6年間認定されました。

共同利用・共同研究拠点とは、個々の大学の枠を越えて大型の研究設備や大量の資料・データ等を、全国の研究者が共同で利用、共同研究を行うシステムです。国立大学の全国共同利用型の附置研究所等を中心に推進されてきましたが、平成20年7月に学校教育法施行規則を改正し、国公立大学を通じたシステムとして、文部科学大臣による共同利用・共同研究拠点の認定制度が設けられました。平成29年4月現在、53大学(28国立大学、25公私立大学)103拠点が認定されています。



# 三遠南信地域連携研究センター

## 越境地域政策研究拠点の概要

従来の地域政策で対応されなかった県境地域・国境地域などの行政境界を跨ぐ越境地域政策の科学的な確立を目的とします。政策手法を構築する越境地域計画コア、政策情報を形成する越境地域情報プラットフォームコア、計量的予測に関する越境地域モデルコアで共同研究を実施し、各越境地域における地域データ整備から将来予測、地域政策合意に至る総合的な越境地域政策研究を促進します。また、国内外の越境地域における地域政策研究機関、研究者等との一般共同研究、地域間交流研究、越境地域基盤研究を行います。

## 越境地域政策拠点の目的

三遠南信地域における越境地域政策研究を蓄積し、国内外の越境地域とのネットワークを形成してきた愛知大学三遠南信地域連携研究センターを研究拠点とし、全国の県境地域、国外の国境地域における地域政策研究機関との共同研究によって、政策パッケージの構築を目指します。

## 越境地域政策拠点の必要性

我が国の市町村の約4割は県境に接しており、県境を越えた地域政策の必要性が高くなっています。また、東アジアにおいても国内越境地域・国境越境地域が出現しつつあります。しかしながら、行政境界を跨ぐ(クロスボーダー)越境地域(県境地域、国境地域)には、統一的な政策主体や地域政策データが整備されておらず、我が国や東アジアにおける地域分権の進展を背景として、越境地域政策の重要性が増しています。

## 三遠南信地域連携研究センターの研究蓄積

我が国の越境地域政策モデルである三遠南信地域を対象とした ①越境地域計画に関する蓄積、②越境地域の政策データを構築するGIS(地理情報科学)研究の蓄積、③越境地域を統合的に計画する計量モデル手法に関する蓄積を有しています。

## 越境地域政策研究拠点の体制

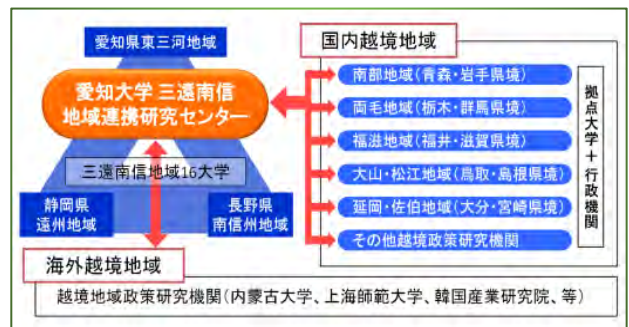
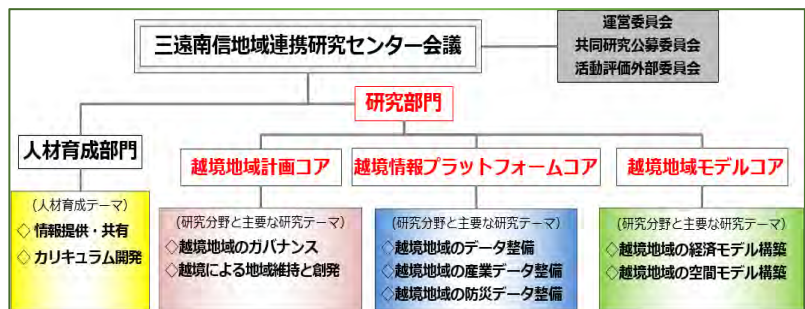
### ■3つの研究コア

共同研究をとおり、越境地域における地域データの将来予測、地域政策合意にいたる総合的越境地域政策研究を促進します。

- ・越境地域計画コア
- ・越境地域情報プラットフォームコア
- ・越境地域モデルコア

### ■3層の共同研究機関ネットワーク

- ・県境地域「三遠南信地域」を政策実験モデルとして、3層の共同研究機関ネットワークで研究を進めます。
- ・全国県境地域との連携により蓄積してきた国内越境地域研究機関ネットワーク
- ・共同研究を行ってきた東アジアにおける大学等との海外越境地域研究機関ネットワーク
- ・三遠南信地域16大学、シンクタンク等との三遠南信地域研究機関ネットワーク



### ■外部委員(活動評価外部委員会・運営委員会・公募委員会)

#### 活動評価外部委員会

大西 隆	豊橋技術科学大学 学長・教授
村山 祐司	筑波大学 教授
水鉤 揚四郎	元筑波大学 教授

#### 拠点運営委員会

大貝 彰	豊橋技術科学大学 理事・副学長・教授
川口 宗敏	静岡文化芸術大学 名誉教授
瀬田 史彦	東京大学大学院 准教授
郭 暁川	内蒙古大学経済管理学院 教授
穂積 亮次	愛知県新城市 市長
加藤 勝敏	東三河地域研究センター 常務理事

#### 共同利用・共同研究公募委員会

山崎 寿一	神戸大学大学院 教授
福島 茂	名城大学 副学長・教授
巖 網林	慶應義塾大学 教授

# 2017年度 越境地域政策研究フォーラム



2018年2月10日、三遠南信地域連携研究センター主催で5回目となる2017年度「越境地域政策研究フォーラム」を開催しました。午前は柴崎 亮介氏(東京大学空間情報科学研究センター)を迎えて「地域マネジメントと空間情報」のタイトルで基調講演をいただくとともに、4名のパネリストをお迎えしてシンポジウム「地方創生に向けた地域情報の活用とは」を行いました。

午後は「越境地域とガバナンス」、「越境地域の防災減災と情報支援」、「地理学的視点から見る越境地域」、「越境地域と人材育成」、「越境地域と歴史・文化」の5つのテーマによる分科会に分かれ、26のタイトルについて活発な発表と質疑応答が行われました。最後に、総括報告会が開催され、各分科会のコーディネーターから分科会状況の報告があり、交流会にて越境地域政策をめぐる各地域・各学問分野における情報交換が行われました。

(場所:愛知大学豊橋校舎)

開催趣旨		
愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として、国内外の越境地域を対象とした政策研究を行っております。その一環として、第5回目となる研究フォーラムを下記の通り開催いたします。越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。		
<b>日時:2018年2月10日(土) 場所:愛知大学豊橋校舎</b>		
<b>10:15~12:50 講演・シンポジウム (会場:記念会館3F)</b>		
あいさつ	川井伸一 (愛知大学学長)	
活動報告	戸田敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)	
■ 基調講演	「地域マネジメントと空間情報」	柴崎亮介(東京大学空間情報科学研究センター)
■ シンポジウム	「地方創生に向けた地域情報の活用とは」	
パネリスト:	秋山祐樹 (東京大学空間情報科学研究センター) 青木和人 (あおきGIS・オープンデータ研究所) 鈴木寛志郎 (富山大学) 苅苧 (愛知大学)	
コーディネーター:	駒木伸比古 (愛知大学)	
<b>14:00~17:00 分科会 ※分科会2は、13:30より開始いたします</b>		
<b>分科会1 越境地域とガバナンス (会場:記念会館1F) コーディネーター:戸田敏行(愛知大学) コメントーター:大日影(豊橋技術科学大学)</b>		
趣旨:国内景観地域および国境地域の政策事例から、行政境界を越えた越境地域におけるガバナンス形成の課題と取組を考える。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道県自治体間の越境連携: 小川眞樹(愛知大学)</li> <li>・ 県境を越えた交流連携による農山村地域づくりの展開: 柳田真彦(岐阜市立女子短期大学)</li> <li>・ 「越境県境地域づくり交流会」による越境プラットフォームの形成: 内海聡(上越市創造行政研究所)</li> <li>・ 中国内モンゴル自治区を中心とする「地域連携軸」に関する研究: 勝敏(内務立大学)</li> <li>・ 可動市場(軽トラ市)の越境時構成に関する実証的研究: 小澤高義(豊橋市役所)</li> <li>・ 静岡・愛知県境を水で結ぶ豊川用水: 小酒井徹(独立行政法人水資源機構)</li> </ul>		
<b>分科会2 越境地域の防災減災と情報支援 (会場:研究館1F) コーディネーター:苅苧(愛知大学) パネル委員長:藤原秋(徳島養老大学)</b>		
趣旨:巨大災害リスクに備えるため、行政、企業と大学が連携し、越境地域の災害情報の充実と確実な支援のあり方を考える。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 講演「防災減災の計画と行動」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南海トラフ巨大地震とは: 大木聖子(徳島養老大学)</li> <li>・ 巨大地震に備える災害廃棄物処理計画: 北詰憲一(関西大学)</li> <li>・ 廃棄物処理～平時から災害時へ: 藤野元(愛知大学)</li> </ul> </li> <li>▶ パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>行政GISの進化と災害危機への展開: 小林正人(浜松市役所)、香和紀男(ESRジャパン株式会社)</li> <li>災害リスクの認知: 大木聖子(徳島養老大学)</li> <li>防災教育: 藤井忠典(静岡大学)</li> <li>災害廃棄物計画の実施へ: 北詰憲一(関西大学)</li> <li>廃棄物処理の平時と災害時: 藤野元(愛知大学)</li> </ul> </li> </ul>		
<b>分科会3 地理学的視点からみる越境地域 (会場:本館5F) コーディネーター:駒木伸比古(愛知大学) コメントーター:栗谷真(徳島立大学)</b>		
趣旨:越境地域における社会・経済・行政の動向を、空間・場所・スケールといった地理学的視点から検討する。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光越境地域の観光と経済: 荒澤博幸(豊橋技術科学大学)、今西節(日本文理大学)</li> <li>・ 越境地域における広域連携を通じたマーケティング・ツーリズム空間の形成に関する地理学的研究: 猪股泰広(筑波大学大学院)</li> <li>・ 飛地と越境行政: 高木彰彦(九州大学)</li> <li>・ 災害・消防広域協定ネットワークにみる防災政策連携の地域構造: 村山敏(愛知大学)</li> <li>・ 越境地域における大型店の立地調整とその現状: 駒木伸比古(愛知大学)</li> </ul>		
<b>分科会4 越境地域と人材育成 (会場:本館5F) コーディネーター:岩崎正彦(愛知大学) コメントーター:柴崎久好(愛知大学)</b>		
趣旨:地域外の人の果たす役割に注目し、家族ネットワークや交流・移住を通じた地域維持の仕掛けと仕組みを考える。消滅可能性から持続可能性へと変換する可能性を、外部と内部の関係性から検討してみたい。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 兼業農家の労働事との関連に注目した他出たを含めた圏域の再編による川開集落の支援手法: 穂刈耕介(豊橋技術科学大学)</li> <li>・ 中山間地域の集落を出た子どもたちの意識—松戸ゼミによる浜松市天竜区佐久間町の調査から: 松戸修一、松戸ゼミ生(静岡文化芸術大学)</li> <li>・ 東栄町観光まちづくり協会が目指す地域のつくり: 大岡千敬(東栄町観光まちづくり協会)</li> </ul>		
<b>分科会5 越境地域と歴史・文化 (会場:本館5F) コーディネーター:和田明美(愛知大学) コメントーター:藤田佳久(愛知大学)</b>		
趣旨:道と越境をテーマに、歴史・地理・文学・言語・民俗・伝承の観点から越境地域を捉えなおすとともに、今後の展望と新たなビジョンを探る。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 越境する伝承文化—奥三河の昔話伝承を通して—: 竹尾利夫(名古屋女子大学)</li> <li>・ 三遠南信地域の古代地名をめぐって: 北川和秀(群馬県立女子大学)</li> <li>・ 三遠南信地域の歴史GISデータベース化: 飯塚隆雄(愛知大学)</li> </ul>		
<b>17:30~19:30 総括報告会・交流会 (会場:道徳館2F(生協))</b>		

愛知大学  
AICHI UNIVERSITY

文部科学省共同利用・共同研究拠点  
「越境地域政策研究拠点」  
(2017年度)

越境地域政策研究フォーラム

愛知大学三遠南信地域連携研究センター

◆お問い合わせ先  
愛知大学  
三遠南信地域連携研究センター  
〒441-8522  
愛知県豊橋市町畑町1-1  
TEL:0532-47-4157  
FAX:0532-47-4576  
E-mail:son-center@n.aichi-u.ac.jp





## 連携協定・国際ワークショップ

2017年8月27日中国内蒙古大学構内にて、愛知大学三遠南信地域連携研究センター長戸田敏行教授、内蒙古大学経済管理学院長鳳蓮教授と内蒙古大学国際交流所趙勇所長の出席のもと、「地域経済産業に関する日中共同研究センター」における連携協定書の調印式が開催されました。



愛知大学三遠南信地域連携研究センターと内蒙古大学経済管理学院との「地域経済産業に関する日中共同研究センター」は2010年11月に設立され、設立当時から今日まで、共同研究センターに関する期限付きの連携協定書は、計2回更新されました。今回の調印式の冒頭に、戸田敏行教授は、これまで約10年間にわたる学術交流の歩みをまとめ、日中共同研究センター長の郭暁川教授からは今後の連携と交流に対する期待が述べられました。

また調印式の前日、「地域資源に着目した越境地域経済連携および産業持続発展に関する日中ワークショップ」が開催され、戸田敏行教授は「越境地域政策研究の成果と展望」、蔣湧教授は「ビッグデータと人工知能の背景下の経済発展」、暁敏博士は「内モンゴル自治区の皮革産業の再編に関する研究」の研究発表を行いました。



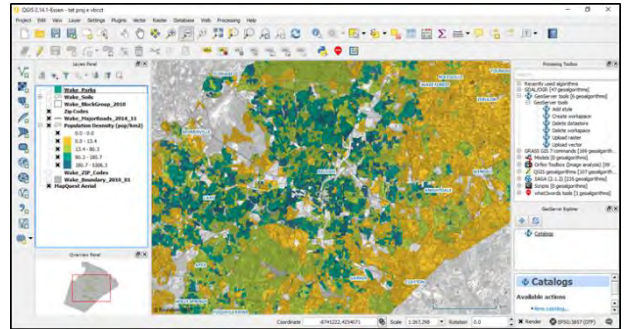
## 第16回コア研究会

開催日：2018年3月30日(金)

テーマ：「QGISの活用に関する事例紹介・意見交流」

話題提供：

- ・「企業の観点から」小林 裕治 氏  
(株式会社カナエジオマテックス)
- ・「行政の観点から」丸田 雅靖 氏(豊橋市役所)
- ・「地域研究と大学GIS教育の観点から」蔣 湧 (愛知大学)



## その他

第3回愛知大学地域研究機構シンポジウム

開催日：2017年12月16日(土)

テーマ：「自治体で活躍する愛大生」

内 容：

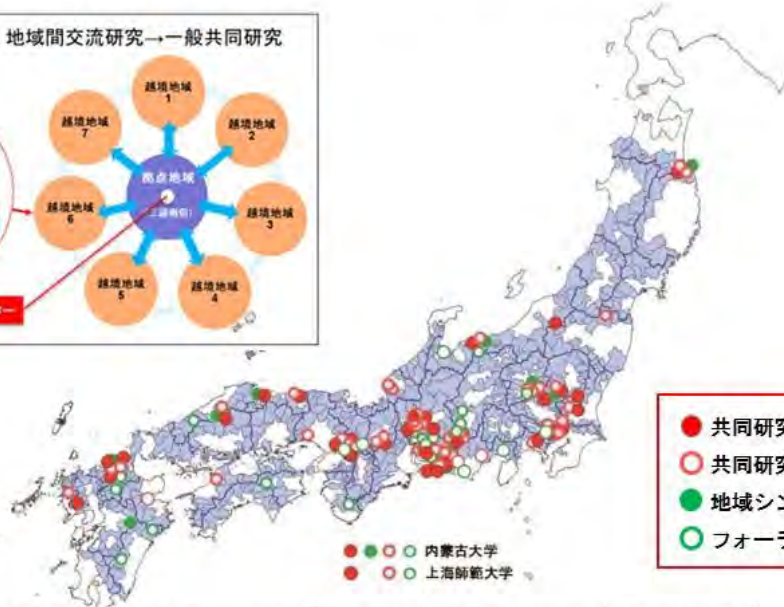
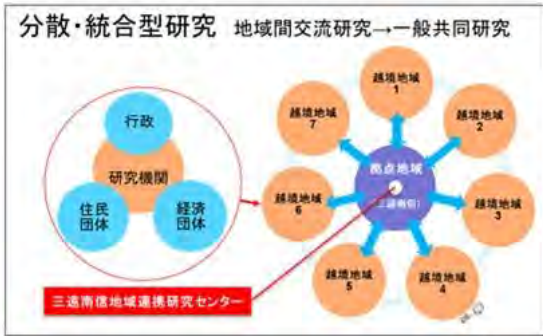
- 基調講演：「高山市のまちづくり～国際観光と地域人財育成～」  
國島 芳明 氏 (岐阜県高山市市長)
- パネルディスカッション：「自治体職員に求められる人材像と教育」  
・パネリスト 國島 芳明 氏 (高山市市長)  
若園 ひでこ 氏 (東郷町議会議員)  
原田 憲治 氏 (浜松市職員)  
山本 めい 氏 (豊根村職員)  
森本 啓吾 氏 (豊橋市職員)
- ・コーディネーター 戸田 敏行(愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)



# 研究拠点

2013年度共同利用・共同研究拠点「越境地域政策研究拠点」に認定されて以来、様々な研究機関との連携や公募研究をはじめとする共同研究を行ってきました。この間、越境地域政策に関する共同研究参加機関は年々広がっており、2017年度末には下記の127機関となりました。

## 越境地域政策研究拠点の体制(全国越境地域)



	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般共同研究	※募集せず	7	7	7	9
地域間交流研究	5	4	4	2	1
公募研究計	5	11	11	9	10
研究者機関	大学52、シンクタンク15、行政28、その他32				
研究者所属	国立27、公立40、私立33、その他27機関				
研究者地域	東北6、関東28、中部55、近畿11、中四国10、九州10、海外7				

合計127機関

## 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA) との活動

- 2017年 8月 2日 第1回 三遠南信地域連携ビジョン策定委員会(浜松市役所)
- 2017年 9月 11日 第2回 三遠南信地域連携ビジョン策定委員会(豊橋商工会議所)
- 2017年 10月 30日 第25回 三遠南信サミット2017in 遠州(浜松市):センター活動紹介のパネル展示
- 2018年 1月 23日 第3回 三遠南信地域連携ビジョン策定委員会(浜松市役所)



## 共同研究（公募研究）

越境地域政策研究拠点は、国内・国外の越境地域における地域政策研究機関との共同研究、地域間の研究交流を行うことによって、従来の地域政策で対応されなかった県境地域・国境地域などの行政境界を跨ぐ越境地域政策の科学的な確立を目的としています。

本センターでは、同拠点事業として、共同研究の質的向上と研究参加の拡大にむけ、共同研究を公募します。2017年度は「一般共同研究」と「地域間交流研究」について助成しています。

一般共同研究	2017-001	2017-002	2017-003	2017-004	2017-005	2017-006
研究テーマ	越境地域における広域連携を通じたトレンディング・ツーリズム空間の形成に関する地理学的研究	行政区界を越えた災害救助の地域間連携におけるGISを活用したシミュレーション分析	集落固有の行催事との関連に着目した他出子を含めた圏域の再編による山間集落の支援手法	中国内モンゴル自治区を中心とする「地域連携軸」に関する研究	飛地と越境行政	県境を越えた交流連携による農山村地域づくりの展開
研究対象地域	長野県信濃町、栄村、新潟県妙高市、十日町市、津南町	名古屋市を中心とした周辺都市圏	愛知県新城市作手野郷地区	中国内モンゴル自治区・黒龍江省・吉林省・遼寧省・河北省・他	和歌山県北山村、熊本県荒尾市、長崎県松浦市、岐阜県大垣市	長野県阿智村・岐阜県中津川市
研究代表者	猪股 泰広 共同研究者 2名	岩田 員典 共同研究者 2名	穂苅 耕介 共同研究者 2名	暁 敏 共同研究者 3名	高木 彰彦 共同研究者 1名	柳田 良造 共同研究者 2名
所属機関	筑波大学大学院	愛知大学	豊橋技術科学大学	内蒙古大学	九州大学	岐阜市立女子短期大学

一般共同研究	2017-007	2017-008	2017-009
研究テーマ	南海トラフ巨大地震に対する災害時拠点施設の脆弱性評価と対応行動の推進	輸送用機械関連産業の産業クラスターの形成とネットワーク構造に関する実証分析	観光越境地域を対象とした空間経済分析の応用
研究対象地域	静岡県、愛知県沿岸部	三遠南信地域および岐阜県、愛知県、三重県	大分県—熊本県の越境地域
研究代表者	大木 聖子 共同研究者 4名	河上 哲 共同研究者 2名	洪澤 博幸 共同研究者 3名
所属機関	慶應義塾大学	近畿大学	豊橋技術科学大学

地域間交流研究	2017-001
研究交流テーマ	可動的市場（軽トラ市）の越境的構成に関する実証的研究
研究対象地域	三遠南信地域
申請代表者	小澤 高義 共同申請者 7名
所属機関	豊橋市

## 2018年度 共同研究公募要領（抜粋）

### 一般共同研究

- 研究内容／一般共同研究者は、全国の研究者を対象に、特定の越境地域において、以下の越境地域政策に関する研究課題（課題研究、自由研究）を対象とします。

課題研究	1.越境地域のガバナンス形成 2.越境地域のリスク管理 3.越境地域の産業経済連携 4.越境地域の生活環境形成 5.越境地域の情報基盤整備
自由研究	越境地域政策に関する研究課題を自由に設定

- 研究対象者／大学およびその他研究機関等に所属する研究者と、共同研究者もしくは協力者を加えて2名以上で構成されているもの（大学院生が申請する場合は1名でも可、ただし指導教員の推薦状が必要）。

- 募集件数／数件
- 研究費 / 1件50万円程度(大学院生は20万円程度)
- 申請期間／2018年1月15日(月)～ 3月26日(月)必着
- 採択通知／2018年4月上旬
- 研究期間／2018年5月上旬～ 2019年1月末

### 地域間交流研究

- 研究内容／地域間交流研究は、越境地域政策研究の基盤づくりを目的として、特定の越境地域(国内・国外)における産・官・学の研究者や行政関係者によるシンポジウム・研究会等の研究交流事業を中心とします。

- 申請対象者／越境地域政策に関与する、もしくは関与が想定される研究者、行政関係者、経済団体、NPO関係者など。申請者を含めた産・官・学の複数名からなるグループで実施すること。シンポジウム、フォーラム、セミナー、ワークショップ、研究会等、越境地域政策のための研究交流を開催し、その成果を、愛知大学三遠南信地域連携研究センターにおいて報告・発表できるもの。

- 募集件数／数件
- 研究費 / 1件50万円以内
- 申請期間／2018年1月15日(月)～ 3月26日(月)必着
- 採択通知／2018年4月上旬
- 研究期間／2018年5月上旬～ 2019年1月末

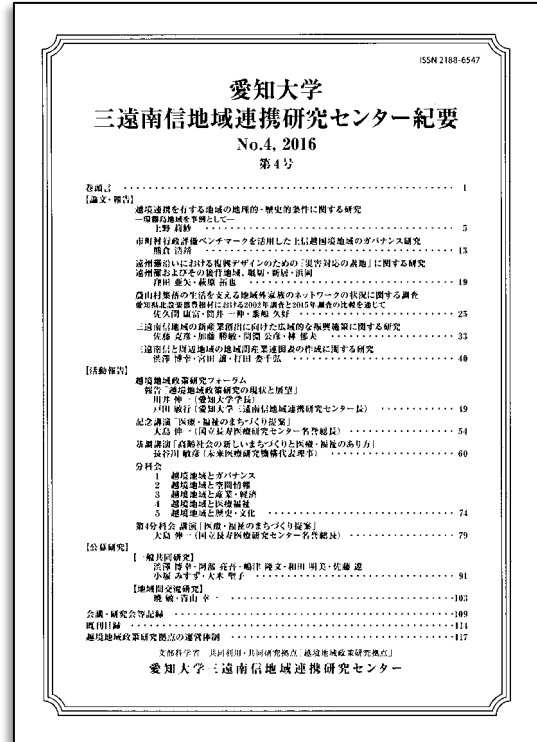
# 出版物

## ■刊行物

『図説 三遠南信のすがた』を刊行しました。



愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要  
第4号を刊行しました。



# アクセス

## ■愛知大学豊橋キャンパスまでのアクセス



## ■愛知大学豊橋キャンパスマップ



## ■お問い合わせ先

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1  
 TEL 0532-47-4157 FAX 0532-47-4576  
 URL <http://www.aichi-u.ac.jp/san-en/>